

# 製造業の生産物流参入



未来けん引する  
NEXTカンパニー

トヨヨーカネット

トヨヨーカネットは2025〜27年度の新中期経営計画を30年度のグループ売上高900億円（24年度比49%増）達成に向けた第2フェーズに位置付けている。主力の物流ソリューション事業の24年度は売上高、営業利益とも過去最高を記録。高成長事業への進化を掲げ規模拡大を目指す。プラント事業ではタンクの建設、保守に欠かせない技能工、監督者の人材の確保を進める。環境・防災ソリューション事業は拡大を進め第3の柱にする考えだ。（水田武詞）



大和田社長

物流ソリューション事業は27年度に24年度比5・8%増の売上高400億円を計画する。空港手荷物搬送システムの国内シェアは80%

超、生協向け物流システムも高シェアだ。空港手荷物搬送システム以外に電子商取引（EC）、サードパーティ・ロジスティクス（3PL）など流通業を中心に展開してきた。今後は製造業の生産物流にも対象を広げる。課題解決するのは、流通も製造業も変わらない（大和田能史社長）。キーテクノロジーは自社開発するが、それ以外は最適な機器、システムを調達し組み合わせて顧客に提案する。業務範囲も拡大する。ト

空港システムは旅客や作業者の安全性を第一に考慮されたデザインで世界中で納入実績がある

「WMSのプロト

## 規模拡大、高成長事業に進化

タイプは3月に完成しており今後レベルアップさせる（同）と話す。プラント事業は大型タンク建設、保守を手がける。極低温の液化天然ガス（LNG）タンクをはじめ各種大型タンクに対応できる。タンクは国内外で累計700基超を建設。国内では年約100基のタンクを保守する。課題はタンク建設、保守に関わる監督者や現場人材の確保だ。23年10月に同社はタンクの建設・保守の技術者を擁する大田産業（和歌山県有田市）を持ち分法適用会社にした。国内タンク保守の子会社TKKプラントエンジニア（東京都江東区）は原則転居がないタンクがある地域限定での採用を行っている。子会社では新たな規則で採用し人材を確保する。第3の柱事業を作るため17年から始めたみらい創生事業。「何を軸にするか模索してきた（同）が、環境・防災ソリューション事業に注力する。既に環境リサーチ（東京都八王子市）や環境計測（京都市伏見区）がグループにある。4月に子会社化した坂田電機（東京都西東京市）は、土木・インフラ関連の計測技術の蓄積があり、各種のモニタリング技術を生かせば防災に役立てられる。環境・防災領域のM&A活動は継続する考えだ。（随時掲載）

### 会社概要

▽創業11年（昭16）5月▽資本金1185億8000万円▽売上高1604億円（25年3月期）▽グループ従業員1718人（25年3月期）